

## 那珂川に生息するヤマメ・サクラマスの産卵場調査（平成30年度）

石川孝典・横塚哲也・小堀功男

### 目 的

那珂川水系にはヤマメ・サクラマスが生息しており、釣りの対象として利用されている。しかし、いつ、どこで、どのような大きさの個体が産卵しているかなど、産卵に関わる生態は不明であり、遊漁資源として持続的な利用を検討するための情報が不足している。そこで、本種の産卵場調査を実施した。

状況を明らかにする必要がある。

### 引用文献

- 1) 網川孝俊・横塚哲也・小堀功男．那珂川に生息するヤマメ・サクラマスの産卵場調査．栃木県水産試験場研究報告．2018；61：68-70.

(指導環境室)

### 材料および方法

2018年9月中旬から11月上旬にかけて那珂川（木ノ俣川を含む）、那珂川支流の箒川（表1）を踏査し、産卵床の数、産卵床にいる親魚の尾数や大きさおよびヤマメとサクラマスの違いを観察した。観察方法は既報に従った。<sup>1)</sup> なお、調査期間中の9月20日に、那珂川北部漁協により養殖魚由来の親魚が那珂川上流部に放流された。

### 結果および考察

天然魚の産卵床は、調査期間中に延べ2床と2017年の29床に比べて極めて少なかった（表1）。また、天然魚と推定される親魚は確認できなかった。サクラマスの資源は、資源量の多い北海道や東北でも変動が大きいいため、本年の那珂川は不漁年にあたった可能性も考えられる。

一方で、放流されたヤマメ親魚が木の俣川および油井上流で産卵床を作っており、増殖に貢献したものと考えられる。

産卵に参加する親魚の回遊型を把握することは、那珂川における資源の増殖および保護の対象を定めることや、その手法を検討する上で重要となる。今後も調査を継続し、那珂川の主要な産卵場における親魚の

表1 那珂川および支流箒川で確認された産卵床数

河川名	調査場所	調査距離 (km)	産卵床数							
			9月中旬		10月中旬			10月下旬	11月上旬	
			9月11日	9月25日	10月11日	10月12日	10月16日	10月19日	10月24日	11月8日
那珂川	木の俣川	0.92	0	0	-	0(7)	0(12)	0(14)	0(7)	-
	板室ダム直下	0.50	-	-	-	-	-	-	0	-
	油井上流	0.58	0	0	-	0(2)	0(1)	1(1)	-	-
	油井下流	0.71	-	0	-	-	-	0	-	-
支流箒川	塩原ダム直下	0.33	-	-	0	-	-	-	-	0
	大黒岩	0.48	0	-	1	-	-	-	-	1

※1 ( )内の値は、9月20日に放流された養殖親魚による産卵床数を表す。

※2 表中の「-」は調査未実施を示す。